

春休み @ストラスブール大学 フランス語短期語学研修



しっかりフランス語を学びます



ストラスブールのシンボル
ノートルダム大聖堂

今年度もフランス、ストラスブール大学でのフランス語短期語学研修が行われます。この研修は、言語文化Ⅲ「文化事情(フランス)2」として開講され、「文化事情(フランス)1」と合わせて履修することにより単位認定されます。

期間 2015年2月下旬～3月中旬の2週間

定員 20名

- 参加資格**
1. 学部1、2年生
 2. 本学教養教育院にて「フランス語」科目の規定の単位を取得済み
 3. 今年度後期火曜5限「文化事情(フランス)1」を履修



清潔でくつろげる寝室



ストラスブール大学の友人たちと

オリエンテーション

9月30日5限に全学教育棟 CALL1 教室にて、研修の詳細と履修登録に関する説明会を開催します。研修に興味のある学生は必ず参加してください。

費用

850ユーロ(12万円)程度(以下1,2,3を含む;航空券は含まれない)

1. 学費:
ストラスブール大学付属語学学校にて授業(月から金):9時-12時、午後は市内見学、ヨーロッパ議会見学、文化・スポーツ催しなど
2. 宿泊:
レジデンス・アミテル、語学学校から徒歩15分、シングル個室 2食つき
3. 家庭訪問、ストラスブール大学の学生との交流

費用補助

日本学生支援機構からの奨学金(8万円、16名分)に応募できる。また名大奨励金を得られる可能性がある。(どちらも、成績評価係数2.3以上の学生が対象)



講師の先生と

★研修の最新情報や昨年度の様子は、「名古屋大学 フランス語科のHP」
<http://francais.lang.nagoya-u.ac.jp/>をご覧ください。また、教養教育院HPより、言語文化Ⅲ「文化事情(フランス)1、2」のシラバスを参照してください。

★問い合わせ先:

- ・研修内容 [フランス語科問い合わせフォーム](#)
- ・事務手続き [国際部国際事業掛<otsuka.haruka@adm.nagoya-u.ac.jp>](mailto:otsuka.haruka@adm.nagoya-u.ac.jp)



近くにレストランもいっぱい



ストラスブールでの授業



宿舎にて



フランス側責任者の Lett 先生
(中央)と別れを惜しむ

シラバス抜粋 言語文化Ⅲ「文化事情(フランス)1」後期火曜5限

❖ 履修条件あるいは関連する科目等

フランス・ストラスブール大学での短期語学研修(2015年3月実施)に参加希望の学生を対象とする。但し、上記研修に参加を希望しない学生の受講も可能。

❖ 授業内容: 本学専任教員によるオムニバス形式で行う。

- ①10月7日 : 飯野和夫(国際言語文化研究科)「ローマの継承者フランス？」
- ②10月14日 : 石井三記(法学研究科)「フランス革命と人権宣言」
- ③10月21日 : 米山優(情報科学研究科)「フランス哲学と心身二元論について」
- ④10月28日 : 川平友規(多元数理科学研究科)「フランスの数学者たち」
- ⑤11月4日 : 鶴巻泉子(国際言語文化研究科)
「国境を越えて?: アルザス・フランス・ヨーロッパ」
- ⑥11月11日 : 渡邊雅子(教育発達科学研究科)
「フランスの思考表現スタイルと学校文化」
- ⑦11月18日 : 奥田智樹(国際言語文化研究科)「フランス語史への誘い」
- ⑧11月25日 : 町田健(文学研究科)「フランスの言語-フランス語とオック語」
- ⑨12月2日 : 藤村逸子(国際開発研究科)「フランス語によるWebからの情報収集」
- ⑩12月9日 : 田所光男(国際言語文化研究科)「『ヨーロッパ言語共通参照枠』に準拠してのフランス語学習、及びフランスのサブカルチャー入門」
- ⑪12月16日 : 河村雅隆(国際言語文化研究科)「放送メディアとフランスの政治」
- ⑫1月13日 : 木俣元一(文学研究科)「フランス・ゴシックの聖堂を訪ねる」
- ⑬1月20日 : ボーメール、ニコラ(教養教育院)「フランスの食文化: 料理、作法、風景」
- ⑭1月27日 : 新井美佐子(国際言語文化研究科)「ジェンダーから見るフランス社会」



トラムで移動



ヨーロッパ議会会場

なお、本授業の単位認定には、14講終了後の指定の期日までにレポートを提出することが求められる(レポート試験)。レポートの課題、分量、提出期限、提出方法等は授業中に説明する。

❖ 成績評価の方法: 出席50%、レポート試験50%。レポート不提出の場合欠席扱いとなる。

❖ 注意事項

本授業2単位の認定を受け、ストラスブール大学での語学研修に参加し、課題提出による評価を受けた学生は、「文化事情(フランス)2」の1単位が認定される(「文化事情(フランス)2」のシラバスも確認すること)。また、上記研修への参加を希望しない学生には、「成績評価の方法」に従ってSABCいずれかの評価を得た場合、本授業の2単位を認定する。